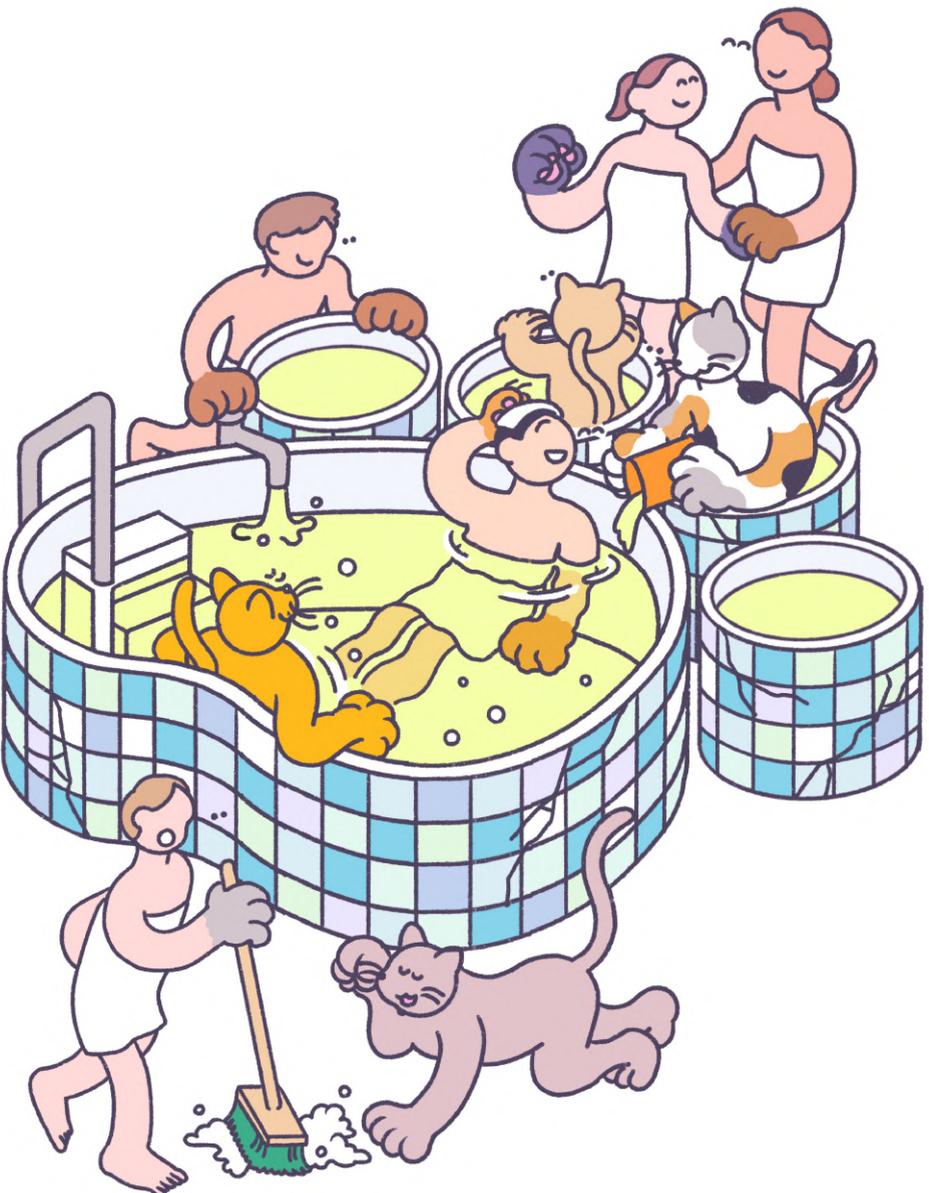


あなたの力を借りる未来

# 猫の手のお湯

甘楽  
富岡



## 【効能】

自分にできる手助けから地域に関わることで、自分たちもまちづくりに参加しているという一体感が増します。

## 【特徴】

エナジードリンクのように発泡している黄色の泉質。浴槽は、どことなくポロポロだが、何か惹かれるものを感じることでしよう。

## 【入浴方法】

猫の番頭さんの指示に従い、入浴します。壊れていたり、お湯が止まっていたりしますので、手助けしましょう。

※無理をしすぎるとかえって疲れますので、完璧を目指さず、自分にできる範囲で手伝い、くつろぎましょう。

## 【対象】

地域で何か小さなことから役に立ちたいと思っている人におすすめです。

## 【成分】

このお湯の成分となる「未来の種」の一覧です。タイトル下の括弧に、提案自治体名と関連テーマを記載しています。

### 『居場所と出会えるポイントカード』（県・多世代）

いつでも（特に市への問い合わせ時、ちょっとおやすみしたい時、団体問い合わせ時、学校じゃない場所に行きたい時）、各団体の拠点や団体を応援している人がいるお店、市役所などで、お子さんのいる世帯や施設の大人、職員・教員などが、居場所となる場所の載ったマップ（ポイントカード付き）と出会う。

### 『居場所と出会えるニュースレター』（県・多世代）

毎月一回、居場所づくりの団体が活動を紹介するニュースレターをつくる。学校と連携し、子どもたちに周知し、漫画で広報紙を作成し、公民館などの施設に配る。

### 『へい！ Jini（地民）』（富岡市／観光）

富岡を楽しみたい観光客が、観光案内所やラジオで、富岡に詳しい妙義人から、直通電話で情報提供を受けられる。個性あふれる地元民からのおすそめをきける。

### 『なんもく高齢化ラボをつくる』（南牧村／空き家）

シニアとベンチャーの共創で、高齢化ラボをつくり、暮らしの学校（大人向け、子ども向け）や防災拠点・民泊を官民連携で創出する。その他のアイデアでは古蔵書ライブラリーや防災運動会、まちごと合宿所も。

### 『なんもくお手伝い会社をつくる』（南牧村／空き家）

村内にいる移住者によるお手伝い制度。移住者が地域を見守ったり、草むしりや掃除や個人の技能を活かしたサービス提供をする。また、物物交換や物・サービス交換、交流サロンの運営や、村外の子ども・孫世代への情報発信もする。